夕刊
磐城新聞
一月十四日發行
定價一ヶ月金六拾錢　郵送料共金五拾錢
廣告料　一行一回金九拾錢　同二回以上一行一回金六拾錢
編輯印刷兼發行人　柿本　清
磐城新聞社
登錄番號（ライライ）第五六四號
電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

正月閑錄

金成增彦

余は田舍漢を愛す。愛する所以を錄して正月の閑を銷すこと次の如し。

庭前の盆栽草花は人の觀賞する處である。深山の大木は徒に天を摩して發ゆるの銅像を見て在りし日の面も人の知る處とならず『長貌をその儘寫した建設者の松谷に似して霜露に困す』場合が多い、然し大廈高樓を建設するにはこの養ふべからざる深山の柏槍を必要とする。

田舍者は人に輕蔑される。彼武骨なればなり、人に對して驚骨に言ひ且つ振舞へばなり、社交界に出ても彼の爲に茶を儲める者すら無情の迷りに因習の情弊を打破し得る人を要望する。

今日の日本に於て坐に此等野人を思ふのである。

附加して言ふ、日本現代の文化に最も欠けたるものは素朴にして純眞なる、而して萬難を排して正しきに進む眞の勇氣ではあるまいか。

（七、一、二）

而して彼等は皆田舍者ではないか。自分は上野へ行く度に野人西郷と呼び掛け度くなる樣な氣のする田舍人々に感謝すると同時に政界にも實業界にも荒けづりの儘なる田舍出の西郷の樣な質朴剛健、所信を貫くに勇敢なる野人が欲しいと思ふ、吾人は西郷や『クロムウエル』の爲した事總てに贊成するものではないが、併し純なる心を發露して熱情の迷りに因習の情弊を打破し得る人を要望する。

今日の日本に於て坐に此等野人を思ふのである。

附加して言ふ、日本現代の文化に最も欠けたるものは素朴にして純眞なる、而して萬難を排して正しきに進む眞の勇氣ではあるまいか。

（七、一、二）

空虛　（民謠）

小濱牧泉

あゝ酔ふた
そうだ
酔つたのを
知つてゐるやこそ
淋しいか
枯れた並木の
たよりなさ
遠く車の
灯が動く
ふら〳〵と
そうだ
ふら〳〵と
浮いてる影が
おれなのか
のんで歌つて

時代警語

○餘分に飲食すべからず……（フランクリン）

父母に事へて至孝なりし二宮尊德翁の天性は、慈善、友愛の情となり、生れながら困苦と戰ひたる精神は絶倫の勤勞となり、翁の總ての善德は養成され得たのである。之れがかの『至誠實行』の教訓となつたのであらう、翁の言はく。衣は寒を凌ぎ、は飢を凌ぐのみにて足れるものなり、云々……

○『ロンドン』にして黑人解放を實施しての開地アメリカ人に人道を尊嚴さを示した者はリンコルンであつた。

アメリカ十三洲の獨立新宣した者は『ワシントン』

○『ロンドン』にして黑人解放を實施しての開地アメリカ人に人道を尊嚴さを示した者はリンコルンであつた。

アメリカ十三洲の獨立新宣した者は『ワシントン』であつた。

英國の革命に際して克く艱難に堪へ最後の戰勝者たりし者は『クロムウエル』であつた。

本社の慰問に對する謝狀一束

滿洲から

亡戰友の仇思ひ知れと 合計六名の敵兵を屠る

餘り弱くて手應へ無い——と

好間村出身　野崎清君

此の度は種々と我々のため御後援下され且懇しき郷里のお便りを滿載せる御紙を日々御送附下されまして有難く厚く御禮申上ます去年一月十日

入營以來　郷里の狀況も知らずに暮して居りましたる處今回御紙を送附下されまして遠き滿洲に居りながら郷里の有樣が手に取る樣に精通して郷里の事に關しては在郷當時の如くでありますが、皆樣の深き御聲援に不肖私も全力を盡して寒風吹き荒む滿洲の野に活躍して皆樣の御恩の萬分の一を報せんと

努力致して居ります

九月十八日奉天城攻撃以來寛容下され度御願申上ます或は長春に或は鄭家屯に或は遼陽に或は遼陽に洮南に三間房にチチハルに近くは牛莊城攻撃に存じ候、時局今後益々惡化の虞あるも微力乍ら小生一身を犧牲に當るの考へに

戰友の仇の一端を報し六名を刺殺し亡き

此の度今回の御紙を送附下されまして有難く厚く御禮申上ます去年一月十日

入營以來　郷里の狀況も知らずに暮して居りましたる處今回御紙を送附下されまして遠き滿洲に居りながら郷里の有樣が手に取る樣に精通して郷里の事に關しては在郷當時の如くでありますが、皆樣の深き御聲援に不肖私も全力を盡して寒風吹き荒む滿洲の野に活躍して皆樣の御恩の萬分の一を報せんと

努力致して居ります

九月十八日奉天城攻撃以來寛容下され度御願申上ます或は長春に或は鄭家屯に或は遼陽に洮南に三間房にチチハルに近くは牛莊城攻撃に存じ候、時局今後益々惡化の虞あるも微力乍ら小生一身を犧牲に當るの考へに

戰友の仇の一端を報し六名を刺殺し亡き

田庄台に盤山に東西奔走し此の間馬賊との交戰を合すれば大小十四回彈雨の洗礼を受け正規兵、兵匪を合し六名を刺殺し亡き

戰友の仇の一端を報し

一身を犧牲に當るの考へに

過般の政變が地方景氣の大宗をなす炭礦界に果して如何なる結果を招徠するやは永らくの不況に悩み切つた日現在の各山元貯炭高を聞くに

（無煙）

	單位噸
磐城	一〇、六二〇
大倉	八、四〇一
大日本	一三、〇五〇
計	三二、〇七一

で前旬に比し九一七噸減

（有煙）

磐城	一六、一二六
入山	一六、六六九
古河	一〇八
磐城	五、〇九〇
磐城	七〇三
計	三八、六九七

前旬に比し之亦六五四噸減即ち有無煙計合煙約七萬噸に過ぎずして前月より二千五百噸を前年同期より三萬三千噸を減じ現存七萬噸中原料政策によつて進む時は尚ほ發展向上の餘地ありと

常備にも足らぬ位

各社の貯炭一掃

今後漸次好轉乎

御聲援に對して早速御禮申述べべき處何かと取まぎれて永々と遲延の段御寛容下され度御願申上ます先は亂筆にて皆々樣に宜しく御傳へ下さい。

御聲援に對して早速御禮申述べべき處何かと取まぎれて永々と遲延の段御寛容下され度御願申上ます先は亂筆にて皆々樣に宜しく御傳へ下さい。

御座候

日野俊男君（湯本町出身）

——皇軍の向ふ處平野の如し武裝の滿洲にて新年を迎ふると共に朝夕の御心痛を感謝致します。

泉村出身　佐藤長丸君

——恭賀新年御社の益々御發展ならん事を御祈りします。滿洲奉天

敵の本據を衝て 禍根を一掃せん

小名濱町出身　松澤信治郎君

——謹賀新年　去る十二月却を開始し我々の溝幇子に三日喬々哈爾より奉天に歸到有せし時は既に開内に撤還以來兵營に在りて爾後の退を完了せしを以て○團は戰闘を準備し居り候處、十二月二十二日

◇夜半急々命令　下り墾二十三日午前一時奉天驛發汽車輸送に依り海城を經て牛莊に向ひ前進附近の匪賊を擊退し午後三時三十分牛莊城に入城致し候、二十六日早朝牛莊城を出發海城より汽車輸送にて大石橋を經て營口に移り舍營し二十七日同地出發遼河を渡船し河北驛を經て田庄台盤山驛等を掃し居り候へば此上乍ら北寧鐵路支線の警備並鐵路修理班護衛等に任し

◇一月一日早朝　溝幇子に入城致し候、今回は遼西一帶の地區に向ひ討伐を開始し其の本據を衝きて禍根を一掃する決心に候處、支那軍は我皇室の御稜威と我軍の武威とに恐れ早くも退

常備にも足らぬ位 各社の貯炭一掃

今後漸次好轉乎

過般の政變が地方景氣の大宗をなす炭礦界に果して如何なる結果を招徠するやは永らくの不況に悩み切つた日現在の各山元貯炭高を聞くに

（無煙）

	單位噸
磐城	一〇、六二〇
大倉	八、四〇一
大日本	一三、〇五〇
計	三二、〇七一

で前旬に比し九一七噸減

（有煙）

磐城	一六、一二六
入山	一六、六六九
古河	一〇八
磐城	五、〇九〇
磐城	七〇三
計	三八、六九七

前旬に比し之亦六五四噸減即ち有無煙計合煙約七萬噸に過ぎずして前月より二千五百噸を前年同期より三萬三千噸を減じ現存七萬噸中原料政策によつて進む時は尚ほ發展向上の餘地ありと

平にさへ借手無い 中小商工産業資金

警戒嚴重な條件に 結局不徹底に畢るか

縣下に割り當てられた中小商工業者産業資金六十萬圓利にして償還期間の長い處の貸出しに就ては客臘來各から旱天の慈雨と欣び迎へ町村役場及郡産業組合で申たが個人借入に就ては金融界の現況から到底望み難き何卒御安心被下度候、然し

◇奉天に歸還致し候間

出入二千五百件

客年中に於ける 多忙な平町人口動態

戸數四千七百人口二萬八千を有する平町の客年中に於ける人事動態は町内關係千七百二件、町外千七百七十二件に達し發展上に於ける異動の頻繁振りを物語つてゐる

△入寄留七五九、出寄留二七〇、退去一五四、歸町三二、町内移動三三四、町外移動一一〇、其他四三、計一七〇二、△管外より通知二七四、無届退去未抹通知二四四、一般發送一二五四、計一七七二

製糸家の進出に 惠まるる地方養蠶家

組合では奬勵規定を制定

郡下の養蠶業は春夏秋繭をへの中繼所たる石城販賣利用組合では此程の役員會に於て奬勵金制度の出荷規定を實行する事となつたが其の誓約を緊密にしを三千圓を減じ現存七萬噸中原料政策によつて進む時は尚ほ發展向上の餘地ありと

製糸家の進出に惠まるる地方養蠶家

組合では奬勵規定を制定

郡下の養蠶業は春夏秋繭をへの中繼所たる石城販賣利用組合では此程の役員會に於て奬勵金制度の出荷規定を實行する事となつたが其の誓約を緊密にしを三千圓を減じ現存七萬噸中原料政策によつて進む時は尚ほ發展向上の餘地ありと

常備にも足らぬ位

各社の貯炭一掃

今後漸次好轉乎

過般の政變が地方景氣の大宗をなす炭礦界に果して如何なる結果を招徠するやは永らくの不況に悩み切つた日現在の各山元貯炭高を聞くに

（無煙）

	單位噸
磐城	一〇、六二〇
大倉	八、四〇一
大日本	一三、〇五〇
計	三二、〇七一

で前旬に比し九一七噸減

（有煙）

磐城	一六、一二六
入山	一六、六六九
古河	一〇八
磐城	五、〇九〇
磐城	七〇三
計	三八、六九七

前旬に比し之亦六五四噸減即ち有無煙計合煙約七萬噸に過ぎずして前月より二千五百噸を前年同期より三萬三千噸を減じ現存七萬噸中原料政策によつて進む時は尚ほ發展向上の餘地ありと

空つ風は冷い

不安と焦躁に暮れ行く 平町の舊歳晩點景

正月氣分も何時しか過ぎ去り家々の門松も次から次と取り除かれて辭北踊躍の紳士32年式の裝ひ

平にさへ借手無い 中小商工産業資金

警戒嚴重な條件に 結局不徹底に畢るか

縣下に割り當てられた中小商工業者産業資金六十萬圓利にして償還期間の長い處の貸出しに就ては客臘來各から旱天の慈雨と欣び迎へ町村役場及郡産業組合で申たが個人借入に就ては金融界の現況から到底望み難き

磐女創立一十年

四月十日の記念日までに 大家の手で校歌制定

磐女では四月十日の創立二十週年を記念し校歌を制定すべく土井晚翠相馬御風の兩氏に依頼の交渉を開始し公開し度い希望である

客が平均一両二分

南町の新勢力に壓されて 頓に振はぬ昨今の五色町

昨年中に於ける鎌田遊廓六軒の水上げ高は娼妓三十九名に對し遊客人員八千四百三十五名、金高二萬一千五百八十七圓八十九錢で一軒當り三千二百七十一圓一日平均九圓八十六錢更に遊客一人當り遊興費二圓五十錢で娼妓一夜一人當り一圓五十二錢と云ふ微々たる稼ぎ高に過ぎず娼妓四百九十九名の稼高を算出すると一人一年七、八百圓内外を要する所から今尚時明かず不便を感じてゐるので捻出を考慮中であるが時節柄頗る難事と觀られてゐる

越の吳

警官大異動

昨十二日發表

警察部補の異動に引續き當然あるべしと豫想された巡査部長以下の異動は昨十三日午後六時發表された、總員百一名中郡下關係の分次の如し

新　舊　氏、名

高等　平　部長　川島和吉

平　福島　磯貝要助

郡山　平　中島善三

平　若松　安藤八百吉

精勵二十年

武道奬勵の功勞者 惜まるる鈴木部長

今回の異動に依り平署から若松署へ榮轉する事となつた巡査部長鈴木忠正氏は大正二年以來足掛ヶ二十ヶ年驛派出所詰以來十二ヶ年間勤の二段一名、初段三名を生んだ武道師範として貢献大なる外管内各町村の武道奬勵にも永久に沒すべからざる功勞者で有志が目下記念品贈呈の取纏め中である

白河平　西條三一
平　二本松持館義雄
平　若松十二所常意
若松平　鈴木忠正
植田本宮　花見勢八
平　郡山巡査　桑原正雄
四倉　坂下　小山田勝之丞
四倉　福島　吉田一郎丸
須賀川　四倉　長山英
平　平　半澤信
同　大久保直八

事務都合退職

麻雀大會

十六日末廣で

平町平和倶樂部主催の新年麻雀大會は來十六日午後四時から新田町末廣に於て開催するが會費は夕食附五十錢、一等より十五等迄の賞品あり參加希望者は田町ビンホ倶樂部宛申込まれ度いと

豫算會議

三小學校

町内三小學校では明年度豫算編成に關し今十三日午後一時から第一小學校に三校長の打合會を催したが第一第三一學級增第二現狀維持となる模樣である

電話買受

（但し仲買人、ブロカーは御ことわり）

姓名在社

四倉通信

鯨岡署長歡迎會

町役場主催に係る鯨岡新署長の歡迎會は昨十五日午後六時より同町柏屋に於て開催すと藝妓健診好成績　四ツ倉町藝妓二十名の健康診斷は昨十三日執行したが成績良好であつたと

凶作地へ義捐金　兒童研究會四倉支部では此程北海道青森地方凶作義捐金募集

就職を希望

平商を巣立つ三年五年九十名

平商業學校今春卒業生五年四十名、三年約五十名、計九十餘名中五年生は進學六名以外は何れも就職を希望し自家營業二十五名の外十二名は就職の希望である學校當局では五年卒業の大部分は就職の態であると大体觀してゐる樣である

看護婦常置難

平第一校焦る

平第一小學校では兒童のトラホーム凍傷の治療其他救急事故に備ふる爲當局の希望をも考慮して看護婦を常設すべく過般來町役場とも交渉を重ねて來たが經費が一人一年七、八百圓内外を要する所から今尚時明かず不便を感じてゐるので捻出を考慮中であるが時節柄頗る難事と觀られてゐる

好間の火事

料理屋一戸燒失

昨十三日午後十時頃好間村大字北好間字槐作二四料理店春木家事星キヨ(30)所有の風呂場物置から發火住家一棟を全燒し同十一時鎮火した、原因は風呂場の煙突からの飛火で損害一千圓で

校長會議

濱三郡

濱三郡小學校長百一名青年訓練所主任八十名實業補習學校長四名の

四倉通信

鯨岡署長歡迎會

町役場主催に係る鯨岡新署長の歡迎會は昨十五日午後六時より同町柏屋に於て開催すと藝妓健診好成績　四ツ倉町藝妓二十名の健康診斷は昨十三日執行したが成績良好であつたと

凶作地へ義捐金　兒童研究會四倉支部では此程北海道青森地方凶作義捐金募集

電話買受

（但し仲買人、ブロカーは御ことわり）

姓名在社

好間の火事

料理屋一戸燒失

昨十三日午後十時頃好間村大字北好間字槐作二四料理店春木家事星キヨ(30)所有の風呂場物置から發火住家一棟を全燒し同十一時鎮火した、原因は風呂場の煙突からの飛火で損害一千圓で

就職を希望

平商を巣立つ三年五年九十名

平商業學校今春卒業生五年四十名、三年約五十名、計九十餘名中五年生は進學六名以外は何れも就職を希望し自家營業二十五名の外十二名は就職の希望である學校當局では五年卒業の大部分は就職の態であると大体觀してゐる樣である

豫算會議

三小學校

町内三小學校では明年度豫算編成に關し今十三日午後一時から第一小學校に三校長の打合會を催したが第一第三一學級增第二現狀維持となる模樣である

麻雀大會

十六日末廣で

平町平和倶樂部主催の新年麻雀大會は來十六日午後四時から新田町末廣に於て開催するが會費は夕食附五十錢、一等より十五等迄の賞品あり參加希望者は田町ビンホ倶樂部宛申込まれ度いと

看護婦常置難

平第一校焦る

平第一小學校では兒童のトラホーム凍傷の治療其他救急事故に備ふる爲當局の希望をも考慮して看護婦を常設すべく過般來町役場とも交渉を重ねて來たが經費が一人一年七、八百圓内外を要する所から今尚時明かず不便を感じてゐるので捻出を考慮中であるが時節柄頗る難事と觀られてゐる

磐女創立一十年

四月十日の記念日までに 大家の手で校歌制定

磐女では四月十日の創立二十週年を記念し校歌を制定すべく土井晚翠相馬御風の兩氏に依頼の交渉を開始し公開し度い希望である

客が平均一両二分

南町の新勢力に壓されて 頓に振はぬ昨今の五色町

昨年中に於ける鎌田遊廓六軒の水上げ高は娼妓三十九名に對し遊客人員八千四百三十五名、金高二萬一千五百八十七圓八十九錢で一軒當り三千二百七十一圓一日平均九圓八十六錢更に遊客一人當り遊興費二圓五十錢で娼妓一夜一人當り一圓五十二錢と云ふ微々たる稼ぎ高に過ぎず娼妓四百九十九名の稼高を算出すると一人一年七、八百圓内外を要する所から今尚時明かず不便を感じてゐるので捻出を考慮中であるが時節柄頗る難事と觀られてゐる

吳越の

警官大異動

昨十二日發表

警察部補の異動に引續き當然あるべしと豫想された巡査部長以下の異動は昨十三日午後六時發表された、總員百一名中郡下關係の分次の如し

新　舊　氏、名

高等　平　部長　川島和吉

平　福島　磯貝要助

郡山　平　中島善三

平　若松　安藤八百吉

精勵二十年

武道奬勵の功勞者 惜まるる鈴木部長

今回の異動に依り平署から若松署へ榮轉する事となつた巡査部長鈴木忠正氏は大正二年以來足掛ヶ二十ヶ年驛派出所詰以來十二ヶ年間勤の二段一名、初段三名を生んだ武道師範として貢献大なる外管内各町村の武道奬勵にも永久に沒すべからざる功勞者で有志が目下記念品贈呈の取纏め中である

白河平　西條三一
平　二本松持館義雄
平　若松十二所常意
若松平　鈴木忠正
植田本宮　花見勢八
平　郡山巡査　桑原正雄
四倉　坂下　小山田勝之丞
四倉　福島　吉田一郎丸
須賀川　四倉　長山英
平　平　半澤信
同　大久保直八

事務都合退職

麻雀大會

十六日末廣で

平町平和倶樂部主催の新年麻雀大會は來十六日午後四時から新田町末廣に於て開催するが會費は夕食附五十錢、一等より十五等迄の賞品あり參加希望者は田町ビンホ倶樂部宛申込まれ度いと

豫算會議

三小學校

町内三小學校では明年度豫算編成に關し今十三日午後一時から第一小學校に三校長の打合會を催したが第一第三一學級增第二現狀維持となる模樣である

電話買受

（但し仲買人、ブロカーは御ことわり）

姓名在社

四倉通信

鯨岡署長歡迎會

町役場主催に係る鯨岡新署長の歡迎會は昨十五日午後六時より同町柏屋に於て開催すと藝妓健診好成績　四ツ倉町藝妓二十名の健康診斷は昨十三日執行したが成績良好であつたと

凶作地へ義捐金　兒童研究會四倉支部では此程北海道青森地方凶作義捐金募集

好間の火事

料理屋一戸燒失

昨十三日午後十時頃好間村大字北好間字槐作二四料理店春木家事星キヨ(30)所有の風呂場物置から發火住家一棟を全燒し同十一時鎮火した、原因は風呂場の煙突からの飛火で損害一千圓で

就職を希望

平商を巣立つ三年五年九十名

平商業學校今春卒業生五年四十名、三年約五十名、計九十餘名中五年生は進學六名以外は何れも就職を希望し自家營業二十五名の外十二名は就職の希望である學校當局では五年卒業の大部分は就職の態であると大体觀してゐる樣である